

企画展

名誉市民

本多静雄コレクション VI

— 現代陶芸 瀬戸・常滑を中心に —



写真/灰陶壺 高さ21.8cm 加藤清之(1931~) 瀬戸

2019年12月10日[火] ▶ 2020年3月8日[日]

同時開催 『館蔵 編組品』(第1民芸館)



豊田市民芸館

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始(12/28~1/4)

会場：第2民芸館 観覧料 無料



〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100

TEL 0565-45-4039

<http://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>

記念講演会

本多静雄氏と現代陶芸—伝統と創造—

日時：2020年2月1日(土) 午後2時～

講師：加藤清之氏(瀬戸・陶芸家)

聴講：無料 定員：先着50名(事前申込不要)

交通のご案内

電車…名鉄三河線平戸橋駅より徒歩15分

名鉄三河線猿投駅よりタクシー7分

車…猿投グリーンロード枝下ICで降り右折10分

東海環状自動車道豊田勘八ICより10分

名誉市民 本多静雄コレクションVI

— 現代陶芸 瀬戸・常滑を中心に —

本多静雄氏(1898~1999)は、電気通信事業と科学技術の向上に献身されるとともに、古陶磁研究家として、陶磁器の研究に取り組み、特に猿投山西南麓古窯跡群(猿投窯)の発見者としても著名です。貴重な資料や出土品の収集、研究により郷土文化の発展に貢献され、その功績により昭和52年(1977)豊田市名誉市民となりました。昭和58年(1983)4月には本多氏のご尽力により日本民藝館の一部を移築し豊田市民芸館を開館しました。

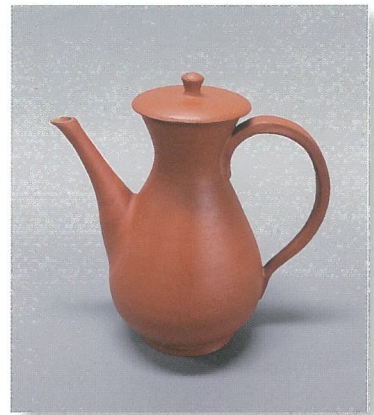
本多氏は、晩年、氏のコレクションの大半をゆかりのある博物館等へ寄贈していますが、本展では最後まで本多静雄氏の手元に置かれていたもので、平成20年(2008)に本多静雄氏のご遺族から新たに収集した1785件のコレクションの一部を紹介する第6回目です。今回は、本多氏が陶芸家の育成にも力を入れた、地元愛知県の瀬戸や常滑の現代陶芸作家の作品を中心に展示紹介します。



灰釉花入
河本五郎(瀬戸)〈1919~1986〉



安南染付水指
加藤偉三(瀬戸)〈1908~1990〉



水注
谷川菁山(常滑)〈1940~2011〉



土瓶形水指
加藤唐九郎(瀬戸)〈1898~1985〉



ペルシア三彩鳥唐草文鉢
加藤卓男(美濃)〈1917~2005〉



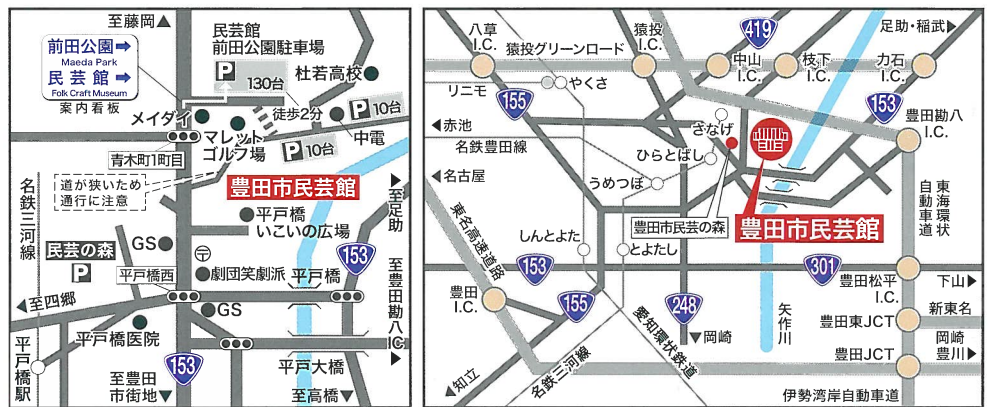
絵織部コーヒー碗
鈴木五郎(瀬戸)〈1941~〉豊田市在住

記念講演会

日時：2020年2月1日(土) 午後2時~
演題：本多静雄氏と現代陶芸—伝統と創造—
講師：加藤清之氏(瀬戸・陶芸家)
聴講：無料
定員：先着50名(事前申込不要)

ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時：2020年1月11日(土)
午後2時~30分程度
参加：無料
定員：先着20名(事前申込不要)



豊田市民芸館

〒470-0331 豊田市平戸橋町波岩86-100 TEL0565-45-4039 <http://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>